

活動報告

団体名	NPO 法人 ぎふ NPO センター
活動名	長野県災害時支援ネットワーク情報共有会議のための事務支援活動
活動期間	2019/10/14 ~ 2019/10/27
活動の成果	被災時には地域の NPO 支援センター及び中間支援組織が、被災者・被災地域と支援する NPO や行政を繋ぐ場合が多くあります。長野県でも同様に、長野県 NPO センターが NPO 等の市民団体と支援を必要とする地域との調整を担ったほか情報共有の場を設けるなど行っていました。ぎふ NPO センターが活動に入ったのは発災から 2 週間程度が経過した状況であり、情報を共有する基盤が整えられ、被災者・被災地域からのニーズと NPO 等が提供できるシーズをマッチングさせる方法を構築していく段階でした。長野県 NPO センターと連携し主に以下の 3 つの業務を実施しました。「1：害支援ネットワーク会議の準備及び終了後の情報整理」「2：の活動記録を報告するための Google フォーム作成 LINE の報告フォーム作成」「3：NPO 等の提供できる支援と支援を求める被災地域のマッチングのための支援情報リスト用入力フォームの作成」。現地の NPO 支援センターが求める支援が行えるようにするためには、それぞれの NPO 支援センターが行える支援についてリスト化する、職員の情報を共有する、研修を行って基礎的なスキルを身に付けておく、等が必要だと感じました。
寄付者へのメッセージ	近年、全国的に広域災害が頻発しており、被災地だけでは様々な支援や復旧が追いつかない状況にあります。そんな中、被災地における助け合いだけではなく、被災していない都道府県からの応援派遣という形が、スタンダードになりつつあります。今回、日本 NPO センターの調整により長野県 NPO センターに応援派遣という形で支援に入りましたが、支援活動を継続して行いたいという思いがありながら、かかる経費が足枷になるという現実もありました。しかし、ボラサポのおかげで、入るべきタイミングで支援に入ることができました。NPO は潤沢な資金が無い所が多いため、活動をする場合は委託や助成金をとりながらの活動になります。そのため助成金は大変ありがたく、特に迅速な対応が必要な災害支援にもタイミングを逃すことなく入ることが出来ます。また、赤い羽根は、地域の皆様や企業の皆様からの貴重なご寄付です。そのため、活動費として使わせていただく上では、常に「地域に還元する」「次につながる活動にする」という事を意識しています。皆様からのありがたいご寄付を、地域に根ざした活動へと変えるため、今後も精進していきたいと思っております。

(活動のようす)

